

職員アンケート調査結果について

このたび、当事業所の職員へアンケート調査を実施いたしました。  
保護者等に対するアンケート調査結果も踏まえ、職員全員で業務改善に取り組んで参りたいと考えております。

1. 実施期間
- 令和 6年 1月4日(木) ～ 1月12日(金)
2. 対 象 者
- 放課後等デイサービス事業従業者
3. 調査方法
- アンケート用紙を配布し、対象者に協力を依頼しました。
4. 調査内容
- (1)環境・体制整備 (2)業務改善 (3)適切な支援の提供  
(4)関係機関や保護者との連携 (5)保護者への説明責任等  
(6)非常時の対応 について調査を実施しました。
5. 回答総数
- 8件配布中 8件

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

作成日:令和 6 年 2 月 1 日

回答率:100 %

事業所名 坂井市社会福祉協議会 希望園

|         |    | 質問項目                                                        | はい          | いいえ        | 工夫している点                                                                                   | 課題や改善すべき点等                                   |
|---------|----|-------------------------------------------------------------|-------------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
|         |    |                                                             | 人数<br>(割合)  | 人数<br>(割合) |                                                                                           |                                              |
| 環境・体制整備 | 1  | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか                                    | 4<br>(75%)  | 2<br>(25%) | ・園庭があるため、外遊びの環境として恵まれている。<br>・安全に配慮しながら、廊下なども利用して個別対応や小集団活動を行っている。                        | ・仕切りをしていても、周囲の騒がしさなどから、静かな環境を提供できないことがある。    |
|         | 2  | 職員の配置数や専門性は適切であるか                                           | 7<br>(88%)  | 1<br>(12%) |                                                                                           | ・送迎時や職員の休憩など、職員の手が足りないと利用児童のニーズに応えられないことがある。 |
|         | 3  | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか                 | 8<br>(100%) |            |                                                                                           |                                              |
| 業務改善    | 4  | 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか               | 8<br>(100%) |            | 月例の職員ミーティングで協議して、実践し毎日の振り返りで実施状況を確認している。                                                  |                                              |
|         | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | 8<br>(100%) |            | アンケート結果集計後、討議会を行い業務改善につなげている。                                                             |                                              |
|         | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                           | 8<br>(100%) |            | 昨年度は2月にホームページにて公開している。今年度も2月中に公開予定。                                                       |                                              |
|         | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             | 4<br>(75%)  | 2<br>(25%) | 第三者による外部評価は行っていないが、地域ボランティアに客観的なご意見や感想を頂き、振り返りや支援改善に繋げている。今年3月にはボランティア交流会を開催予定。           |                                              |
|         | 8  | 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                 | 8<br>(100%) |            | 9月に児童発達支援センターより講師を招きペアレントプログラム研修を受講した。また、感染症予防対策の社内研修を開催したり、計画的に内外の研修に取り組んで職員の資質向上に努めている。 |                                              |
| 適切      | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 8<br>(100%) |            | 保護者面談や活動の中で子どもの障がい特性等の情報収集を図り、アセスメントを実施し個別支援計画を作成している。                                    |                                              |
|         | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                   | 8<br>(100%) |            | 事業所独自のツール(強度行動障害アセスメントツールを参考)を使用している。                                                     |                                              |
|         | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | 8<br>(100%) |            | 毎月、季節やニーズ、課題に応じた活動プログラムを職員ミーティングで話し合い立てている。                                               |                                              |
|         | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | 8<br>(100%) |            | 創作、音楽、運動、コミュニケーション、自立訓練をベースに、季節や文化を取り入れながら活動プログラムが固定化しないよう工夫をしている。                        |                                              |
|         | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | 8<br>(100%) |            | 本人の課題に合わせ、平日は短時間で目標を達成できる活動内容、休日、長期休暇中は個別と集団活動を組み合わせながらじっくりと取り組める活動内容を準備し支援している。          |                                              |

|              |    |                                                                        |             |            |                                                                                           |                                                    |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------|-------------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 主な支援の提供      | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか                       | 8<br>(100%) |            | お子さんの障がい特性や能力に合わせた、個別と集団の活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している。                                     |                                                    |
|              | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                     | 8<br>(100%) |            | 打ち合わせは毎日実施している。送迎担当表や業務日誌、グループLINEを通じて、職員が業務や支援内容を確認できるようにしている。                           |                                                    |
|              | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                   | 8<br>(100%) |            | 支援終了後、振り返りで情報共有を図り、共有した情報を業務日誌に記入し、不在職員も確認できるようにしている。                                     |                                                    |
|              | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                               | 8<br>(100%) |            | 日々、個別ファイルに記録した内容について、毎月、児童発達支援管理責任者が内容を確認している。                                            |                                                    |
|              | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                             | 8<br>(100%) |            | 少なくとも6か月に1度は定期的にモニタリングを実施している。また、保護者やお子さんのニーズに応じて、計画を変更している。                              |                                                    |
|              | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか                                        | 8<br>(100%) |            | お子さんの課題に応じて、自立支援と日常生活の充実、創作、地域交流、余暇の提供を複数組み合わせた活動提供を行っている。                                |                                                    |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい物が参画しているか                     | 8<br>(100%) |            | 検討内容に応じて、管理者及び児童発達支援管理責任者が参加している。                                                         |                                                    |
|              | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 8<br>(100%) |            | 学校送迎時に担当教諭と顔を合わせて、学校での様子について引継ぎを行い、お子さんのスムーズな受け入れを行っている。また、行事等による送迎時間の変更は、学級通信等で情報共有している。 |                                                    |
|              | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             | 4<br>(75%)  | 2<br>(25%) |                                                                                           | 現在、対象のお子さんはいない。                                    |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                | 8<br>(100%) |            | 今年度はコロナの流行もあり、移行支援会議の開催への参加が難しく、児童が通所していた保育所や児童発達支援センターの担当者に電話にて聴き取りを行いました。               | ZOOMでの開催等、会議参加方法についても検討していくと良い。                    |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか     | 8<br>(100%) |            | 卒業生が在籍する際は、相談支援専門員に移行支援会議への参加希望を伝え、可能な限り参加できるように努めています。                                   |                                                    |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | 7<br>(88%)  | 1<br>(12%) | 利用児童の課題や困り事について、児童発達支援センターの担当者に訪問や電話で支援方法についてアドバイスを受けた。                                   |                                                    |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか                                   | 5<br>(63%)  | 3<br>(37%) | 感染症の流行や開催場所等の課題があり、実施できていない。また、ボランティアとして地域の中高生にも声を掛けているが、交通手段等の課題もあり、実施に繋がっていない。          | 児童支援部会が開催する、学童クラブの職員との交流会に参加する等して、お互いの交流の場を検討していく。 |
|              | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか                                               | 8<br>(100%) |            | 地域の課題や、事業所同士の連携を図る為、積極的に参加している。                                                           |                                                    |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | 8<br>(100%) |            | 保護者がお迎えの際に申し送りを行っている。また、気になることがあった場合は、電話や連絡帳を使用して保護者と情報交換を行っている。                          |                                                    |
| 保護者への説明責任等   | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか                       | 8<br>(100%) |            | 11月に開催した保護者交流会にて、ホメるコツについてペアレント・プログラムの講座を行った。                                             |                                                    |
|              | 30 | 運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか                                     | 8<br>(100%) |            | 契約時や内容の変更時には書面を用いて説明している。保護者と顔を合わせる時は、積極的に支援状況を伝えるようにしている。                                |                                                    |
|              | 31 | 保護者から子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか                                  | 8<br>(100%) |            | 送迎時や電話などで相談を受けている。保護者からご希望があれば随時、事業所内相談も行っている。また、課題に応じて外部講座や研修などの紹介も行っている。                |                                                    |
|              | 32 | 父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                           | 8<br>(100%) |            | 11月に保護者交流会を開催した。顔見知りになった保護者同士が、児童の将来について語り合う場面もあった。また、交流会の様子を社協HPIにて掲載した。                 |                                                    |
|              | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか    | 8<br>(100%) |            | 苦情窓口を設けると共に、保護者等には書面を通して説明している。現在のところ苦情はなし。                                               |                                                    |
|              | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                      | 8<br>(100%) |            | 毎月の月間活動予定表と年3回、長期休暇中の活動報告の会報を発信している。                                                      |                                                    |
|              | 35 | 個人情報に十分注意しているか                                                         | 8<br>(100%) |            | 職員一人ひとりが個人情報について意識を高めるよう努めている。また、各家庭の意向に応じて、配布物や掲示物に配慮している。                               |                                                    |

|         |    |                                                                                 |             |  |                                                                             |                              |
|---------|----|---------------------------------------------------------------------------------|-------------|--|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
|         | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                           | 8<br>(100%) |  | 活動予定表はひらがなを振りカラー印刷する等、誰もが見やすい配慮をして配布している。また、お子さんには写真や絵を使い視覚化した伝達を行っている。     |                              |
|         | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか                                             | 8<br>(100%) |  | 今年度は、クリスマス会や焼き芋大会などのイベントの際に、地域住民に参加頂いた。来年度は事業所が創立50周年を迎えるため、地域住民にもご参加頂く予定。  |                              |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明しているか                                | 8<br>(100%) |  | 今年度の保護者交流会で、安全への取り組みについて、保護者へのご説明を行った。                                      | R6年度より、安全計画が義務化されるため、現在、策定中。 |
|         | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか                                            | 8<br>(100%) |  | 災害訓練は年2回、防犯訓練は1回行っている。また、今年度は6月に津波災害の際の避難経路を、児童、保護者、地域ボランティアと一緒に実際に歩いて確認した。 |                              |
|         | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか                                             | 8<br>(100%) |  | 虐待の芽チェックリストによる自己点検を実施した。また、1月の虐待防止のための研修を行った。                               |                              |
|         | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 8<br>(100%) |  | 現在、身体拘束が必要な児童はいませんが、拘束の必要がある場合は、身体拘束適正化委員会に議題として挙げ検討しています。                  |                              |
|         | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか                                           | 8<br>(100%) |  | 主治医から診断書をもらい、その指示を基にサービス提供している。また、保護者からの情報を元に食品提供リストを作成し、おやつを提供をしている。       |                              |
|         | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか                                                      | 8<br>(100%) |  | ヒヤリハット事例集は作成していないが、終礼や月例ミーティングでヒヤリとしたことは情報共有している。                           |                              |